
あひるによるアヒルのための家鴨的生活記

天蜜 摺樂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あひるによるアヒルのための家鴨的生活記

【Zコード】

Z0511C

【作者名】

天蜜 摺楽

【あらすじ】

人間の言葉を喋り、空を飛び、料理も掃除もできる（けれどしない）。そんなアヒルと飼い主のハイテンション脱力生活記。

プロローグ 決意

あひるによる、アヒルのための、家鴨的^{アヒル}生活記。

私は家鴨を飼っている。

人の言葉を喋り、一人前に行動する、謎の家鴨を。ちなみに私の名前はあひるで、家鴨の名前もアヒルである。

「もう、アヒルなんて飼うんじゃなかつた……いや、家鴨は可愛いけど、アヒルは可愛くない」

今更ながら、私はそう思つてゐる。

「こんな天才家鴨を紐で繋いでおいて、なんの不満がある? ほら喋つた、アヒルが…………不満? ありすぎて困る。」

「料理うまいくせにしないし、掃除やれるくせにやらないし、そのくせ散らかすし、人の言葉喋るし、生意気だし…………いいつ? あんたはペツト、私は飼い主! 少しつらじに可愛くしたり手伝いをしたらどーなのっ! ?」

アヒルは黙り込んだ。そして

「とりあえず飯、つくれよ」

私は決心した。こいつを愛玩動物に相応しい性格へ変えてやるわ、と。

キュキュキュ=あひるによるアヒルのための家鴨的生活記=キュッホワイトボードに書き殴り、キュポ、とマジックのキャップを閉める。

「一人でどうぞ」
「おい馬鹿アヒル、いつぺん死んで正しい家鴨になつたら生まれ変わつて来い」

その1 アヒルとトイレと池

あひるによると、アヒルのための、家鴨的トイレの仕方。

私は見た。

ここには、水上家のトイレ ちなみに洋式 である。

そして……アヒルの姿を発見した。

「おー!アヒル。普通の家鴨はだな、洋式トイレで用を足したりはない、出で」

家鴨としての基本情報を、特別に無料でプレゼントしてあげた。

「無理。それよりノックもせずにかぎ無しおんぽりトイレにいきなり侵入してくるのはいかがかと思つが」

喋る家鴨、『アヒル』は今日もやりたい放題やつている。

「用を足したきや池に行くんだ、このクソ役立たず家鴨」悔しいので罵倒する。

「おー、つるせい飼い主。とつあえずトイレから出で」負けた。

そしてまた次の日も……私は見た。

便器に座りながら新聞を広げているアヒルの姿を。

「学習機能ぶつ壊れてるんですか、お前は。池に行けよ」
だじやれですか、と言いたげな目視線が、私を突き刺す。
致死のダメージ（クリティカルヒット）そして追撃。

「それと飼い主、お前また勝手に入ってきやがつて、そろそろ逆セクハラと動物虐待で告訴するぞ? 優秀な弁護士を用意しておくん

だな

殺す、絶対いつか殺す。

私は胸に殺意を秘めたまま、とりあえずアヒルの首を掴んで、新聞を取り上げた。

「池ならすぐ近くにあるだろ?」

「動物虐待」

「死ね」

本音がぽろりと口から零れ、私は慌てて口をふさいだ、が遅きに失した行動だった。

アヒルは私をキツと睨むと、嘴で笑った。

多分、鼻で笑いたかったんだと思つ。

「飼い主、お前……人生の終着駅、もとじ「みば」に逝つてくれる」とまことに嬉しいんだが

「ごみば」……ああお墓のことか。

迂遠な比喩で罵倒するとは、さすがアヒル、憎たらしかでは誰にも負けていない。

今日はここまでにしておく。

アヒルが家鴨らしくなるのはこのことやない……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0511c/>

あひるによるアヒルのための家鴨的生活記

2010年12月5日06時29分発行